

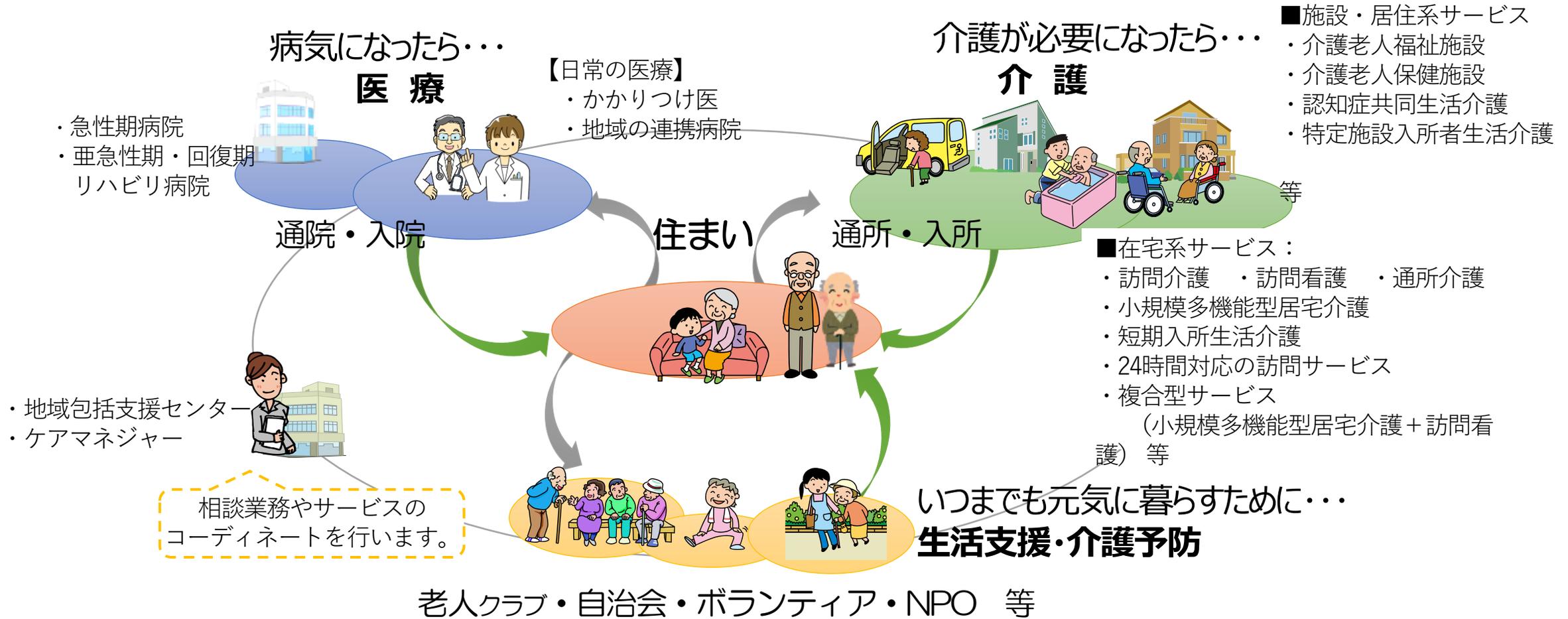
令和3年度 南区地域包括ケアシステム 区役所職員研修会

R3年4月20・23日

熊本市南区福祉課 高齢福祉班



地域包括ケアシステムの姿



団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される仕組みづくり

熊本市の地域包括ケアシステム推進体制

【行政内の推進体制】

<市レベル> 第1層

熊本市地域包括ケアシステム推進会議

- ・市レベルの地域課題の共有
- ・地域活動推進方法の検討
- ・優良事例の市内への波及
- ・事業化、施策化の提案 など

熊本市地域包括ケアシステム庁内推進会議

- ・市レベルの地域課題への対応検討
- ・事業化、施策化 など

<区レベル> 第2層

○区地域包括ケアシステム推進会議

- ・区レベルの地域課題の共有
- ・区レベルのネットワークの構築
- ・地域活動推進方法の検討
- ・優良事例の区内への波及 など

○区地域包括ケアシステム庁内推進会議

- ・区レベルの地域課題への対応検討
- ・地域活動の推進
- ・市への事業化、施策提案 など

<日常生活圏域レベル> 第3層

○地域包括支援センター-地域包括ケアシステム推進会議

- ・個別ケースを通して蓄積された最適な手法や地域課題を関係者と共有する場

協議体（日常生活圏域単位）

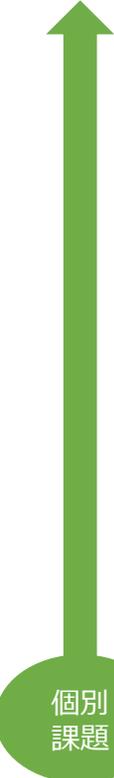
- ・介護予防・生活支援サービスの提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場

地域ケア会議
(校区単位)

個別地域ケア会議

協議体
(校区単位)

政策形成



個別課題

抽出された地域課題を各会議において検討・連携を図り、課題解決に向けて対応していきます。

南区は？（各区独自に方針を策定しています）

- 1 高齢者がいつまでも元気で自らの力を発揮できるまちづくり
- 2 医療と介護が充実し、在宅（地域）で生活する市民が安心して暮らせるまちづくり
- 3 認知症の人と家族が地域で安心して暮らせるまちづくり
- 4 高齢者が自らに合った暮らし方を選択できるまちづくり
（高齢者のすまい関連）

熊本市の取組方針と同様です

南区の地域包括ケアシステム推進体制（R元7月改定）

【行政内の推進体制】

<市レベル> 第1層

熊本市地域包括ケアシステム推進会議

熊本市地域包括ケアシステム庁内推進会議

政策提案

報告

課題抽出

結果報告

<区レベル> 第2層

南区地域包括ケアシステム推進会議

南区地域包括ケアシステム庁内推進会議

提案

報告

課題抽出

結果報告

提案・報告

【実務者会議】 第2.5層

提案・報告

連携・情報共有

連携・情報共有

<日常生活圏域レベル> 第3層

南管内地域包括支援センター-地域包括ケアシステム推進会議
(地域ケア会議・協議体)

南区健康まちづくり推進事業
プロジェクトチーム

南区独自



取組2 医療介護連携について

- きっかけは…
- 第2層南区地域包括ケアシステム推進会議会長職の先生（医師）からのお声かけ
- 「医療・介護という区民にとって分かりにくい情報をもっと分かりやすく整理せなんよね」
- 「医療と介護の関係者同士の連携を南区としてもっと深めんといかんど」



医療と介護の最前線で活動しておられる関係者の方の声を聞きたい！

そこで…

関係者に直接説明に伺い、会議への参加をお願いしました

お声かけしたのは・・・

【医療分野】急性期病院、回復期病院

【介護分野】特別養護老人ホーム
老人保健施設

【在宅医療・介護分野】

在宅医療クリニック、訪問看護ステーション、

薬剤、居宅介護支援事業所等**20名**

お声かけした全員の方に快諾していただき、それぞれの方が現場で感じる「熱い想い」を聞かせていただきました(*^^*)。

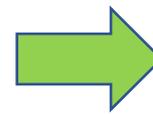


皆さん、日ごろからこんなに熱い想いで仕事に取り組んでおられるのだと感動！

実務者会議当日の様子



- 取組2：医療介護連携分野で目指すところの共有
- ①「高齢者を支える支援者の顔の見えるシステム構築」
 - ②「医療と介護のシステムの区民への啓発」



参加者皆さんとの意見交換
各職域からの熱心なご意見をいただいています♪

実務者の方々と考えた具体的な取組

- 1.メンバーを医療グループ・介護グループ・在宅医療介護グループの専門分野ごとに分ける。
- 2.それぞれの分野において、区民に伝えるべき啓発内容について情報収集を行う
- 3.啓発内容の絞り込みと内容の決定⇒R3.5月会議開催予定。
- 4.医療介護関係ではない第2層推進会議委員・区役所職員への啓発と情報共有
- 5.南区としてまとめた情報の啓発を行う

本日の研修会がここに位置付け！



2.5層実務者会議メンバーの合言葉



- ①区民に分かりやすい啓発を行う
- ②会議だけ。紙だけ。にならないような取組を進める。



取組を行う中で、関係者同士の顔の見えるシステム構築に繋げていく

R3年2月 南区役所職員向け医療介護アンケートを実施

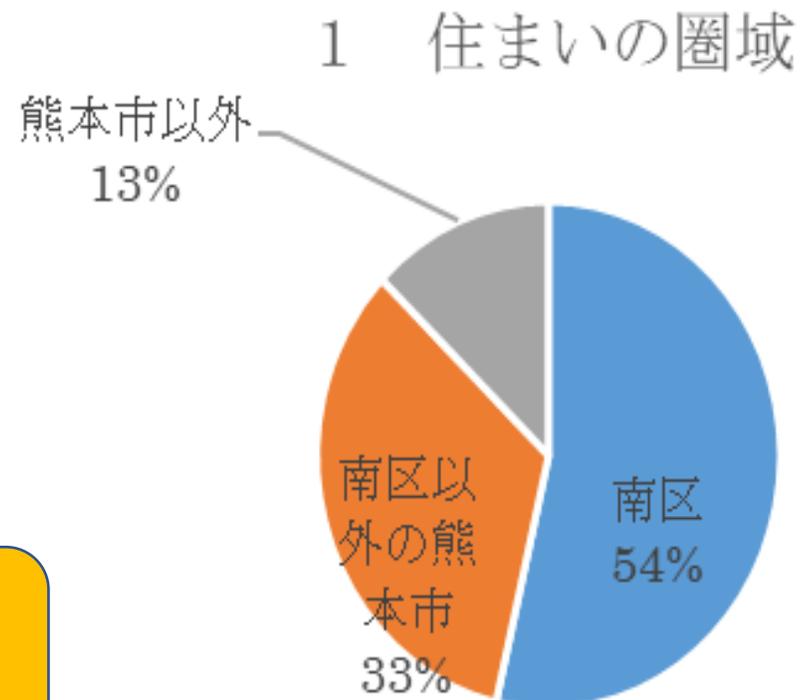
1. 調査目的
区民の医療・介護に対する意識や終末期医療の希望を把握
2. 調査対象
南区役所及び南区内のまちづくりセンターに勤務する職員
(再任用含) 285名
3. 調査方法
Cネットアンケートフォームを利用したアンケート調査
4. 調査期間
令和3年2月1日(月)～令和3年2月19日(金)
5. 調査結果
【回答者】164名 【回答率】57.5%



【問1】あなたのお住まいの圏域はどこですか？

- ① 南区 ② 南区以外の熊本市 ③ 熊本市以外

南区	88
南区以外の熊本市	55
熊本市以外	21

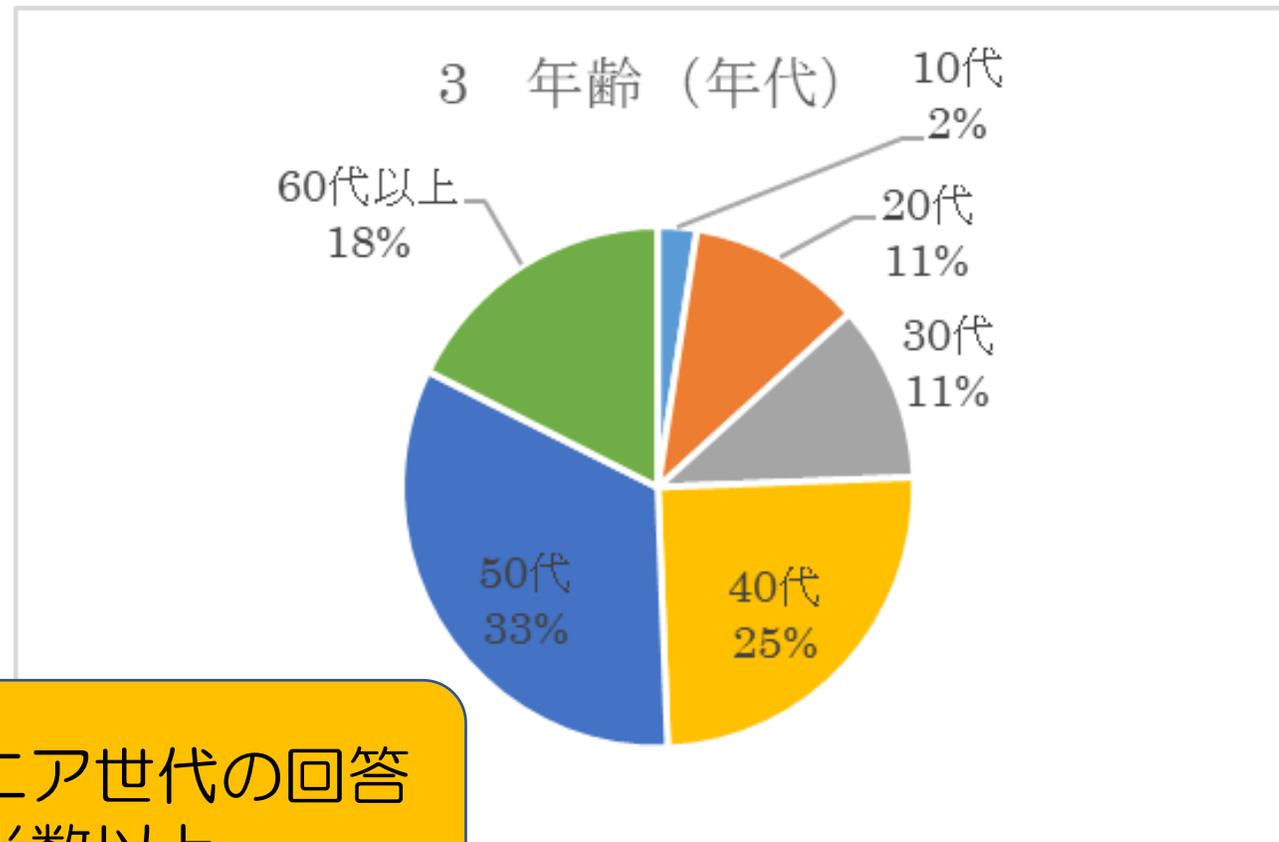


南区在住の職員が半数

【問3】 あなたの年齢（年代）をお答えください

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代以上

10代	4
20代	18
30代	18
40代	41
50代	54
60代以上	29



団塊ジュニア世代の回答
が半数以上

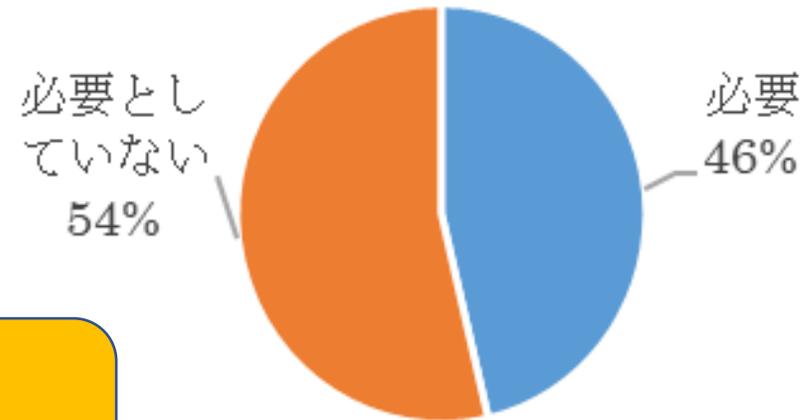


【問5】あなたは在宅で受ける医療や介護の知識を必要としていますか？

- ①必要 ②必要としていない

必要	76
必要としていない	88

5 在宅で受ける医療や介護の知識を必要としているか？



知識を必要としている人は半数



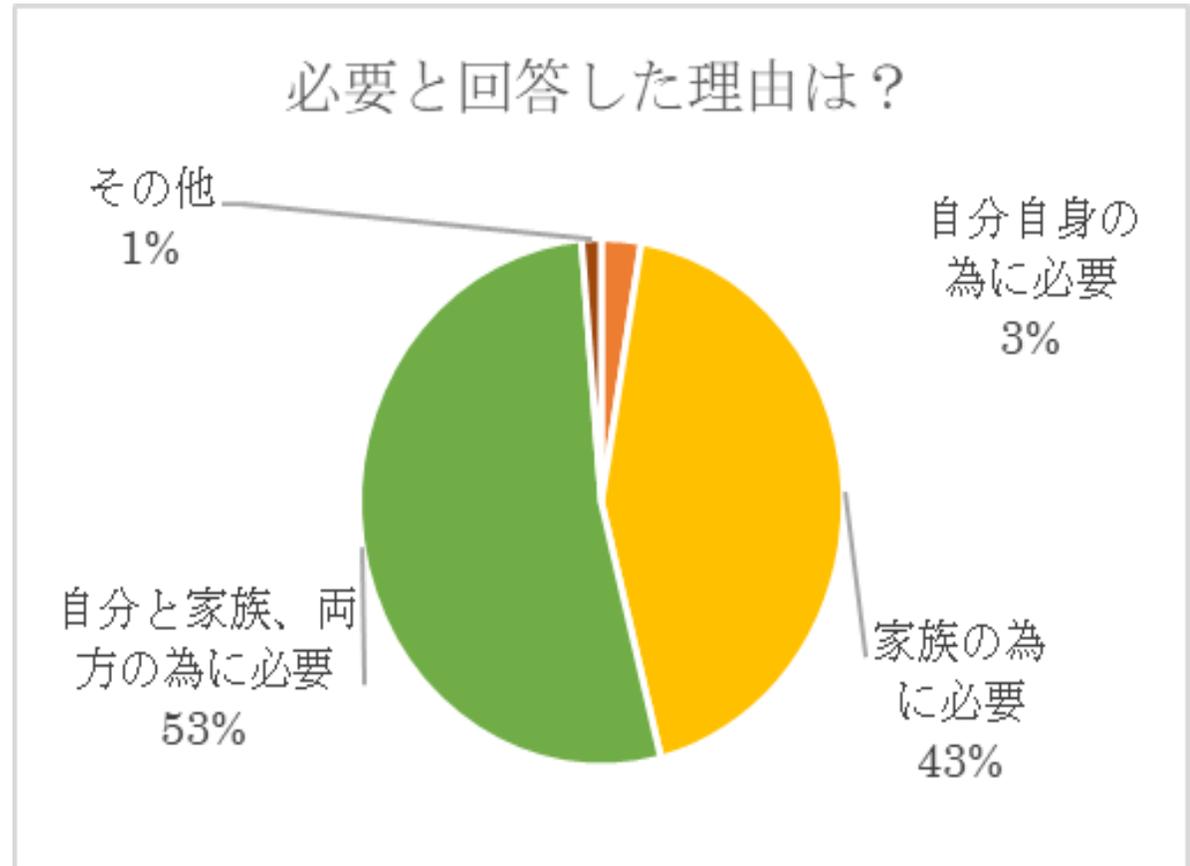
「①必要」と回答した方⇒その理由は何ですか？



- ①自分自身のために必要 ②家族のために必要 ③自分と家族両方のために必要 ④その他（自由記載）

自分自身の為に必要	2
家族の為に必要	33
自分と家族、両方の為に必要	40
その他	1

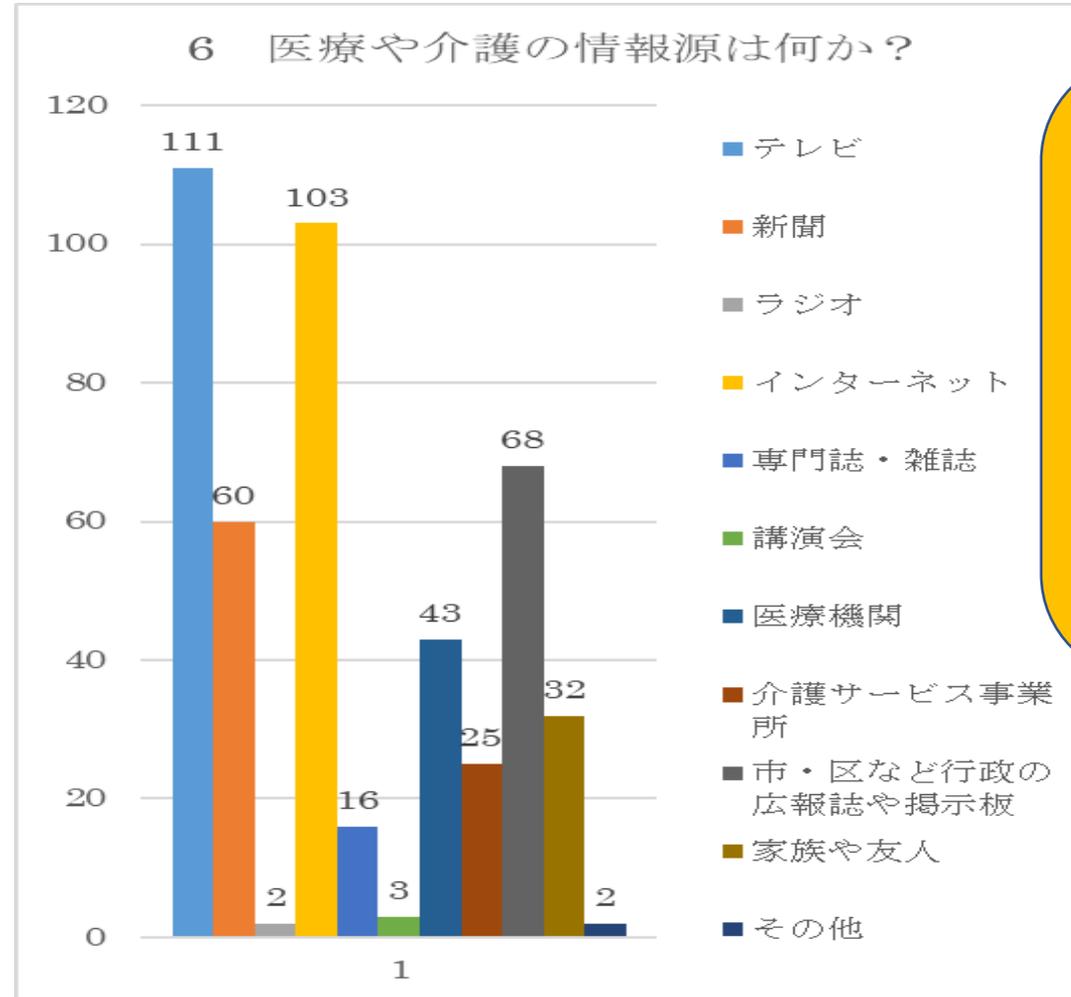
自分と家族の為に必要な人が半数



【問6】あなたは日頃、医療や介護についての知識や情報を何から得ていますか？
 (複数回答可)

- ①テレビ ②新聞 ③ラジオ ④インターネット ⑤専門誌・雑誌 ⑥講演会 ⑦医療機関
 ⑧介護サービス事業所 ⑨市・区等、行政の広報誌・掲示板 ⑩家族や友人
 ⑪その他 ()

テレビ	111
新聞	60
ラジオ	2
インターネット	103
専門誌・雑誌	16
講演会	3
医療機関	43
介護サービス事業所	25
市・区など行政の 広報誌や掲示板	68
家族や友人	32
その他	2



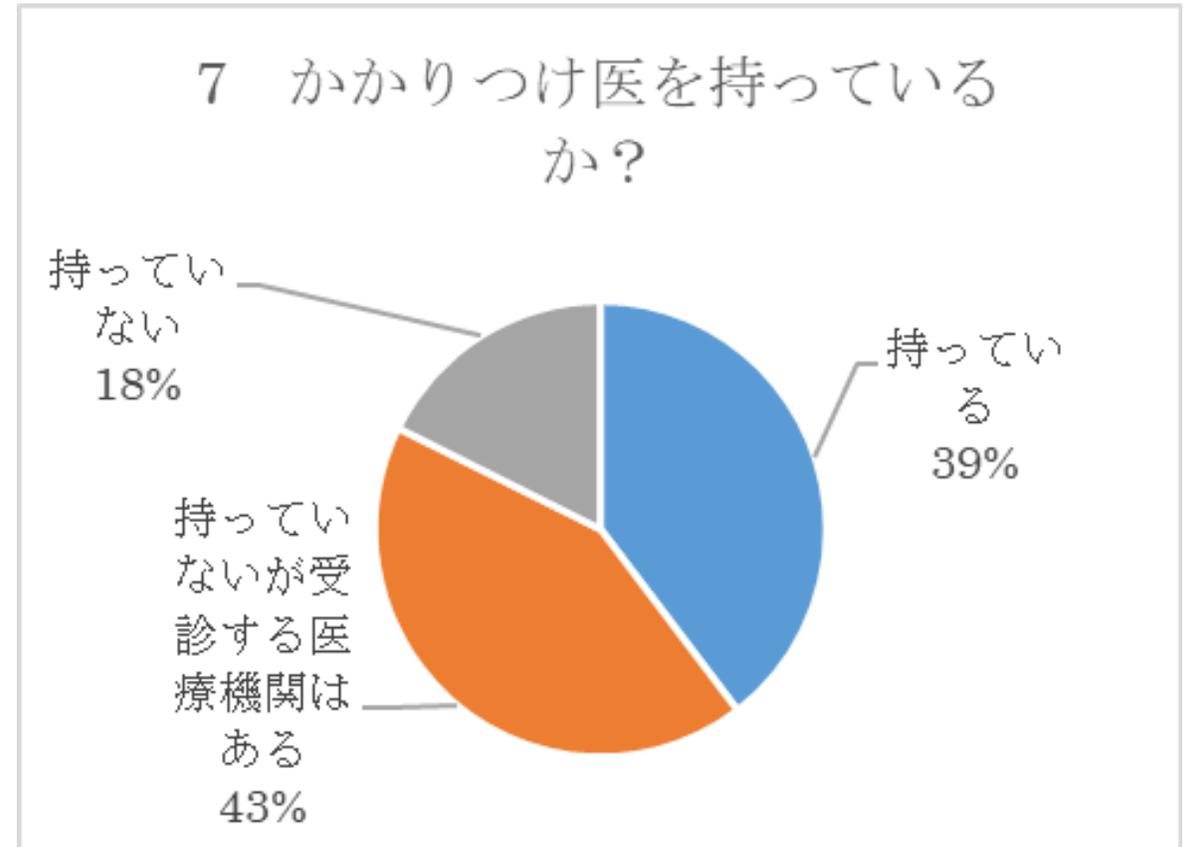
テレビ・インターネット・行政の広報誌で情報を得ている職員が多い



【問7】あなたは「かかりつけ医」をもちっていますか？

- ①持っている ②持っていないが受診する医療機関はある ③持っていない

持っている	65
持っていないが受診する医療機関はある	70
持っていない	29



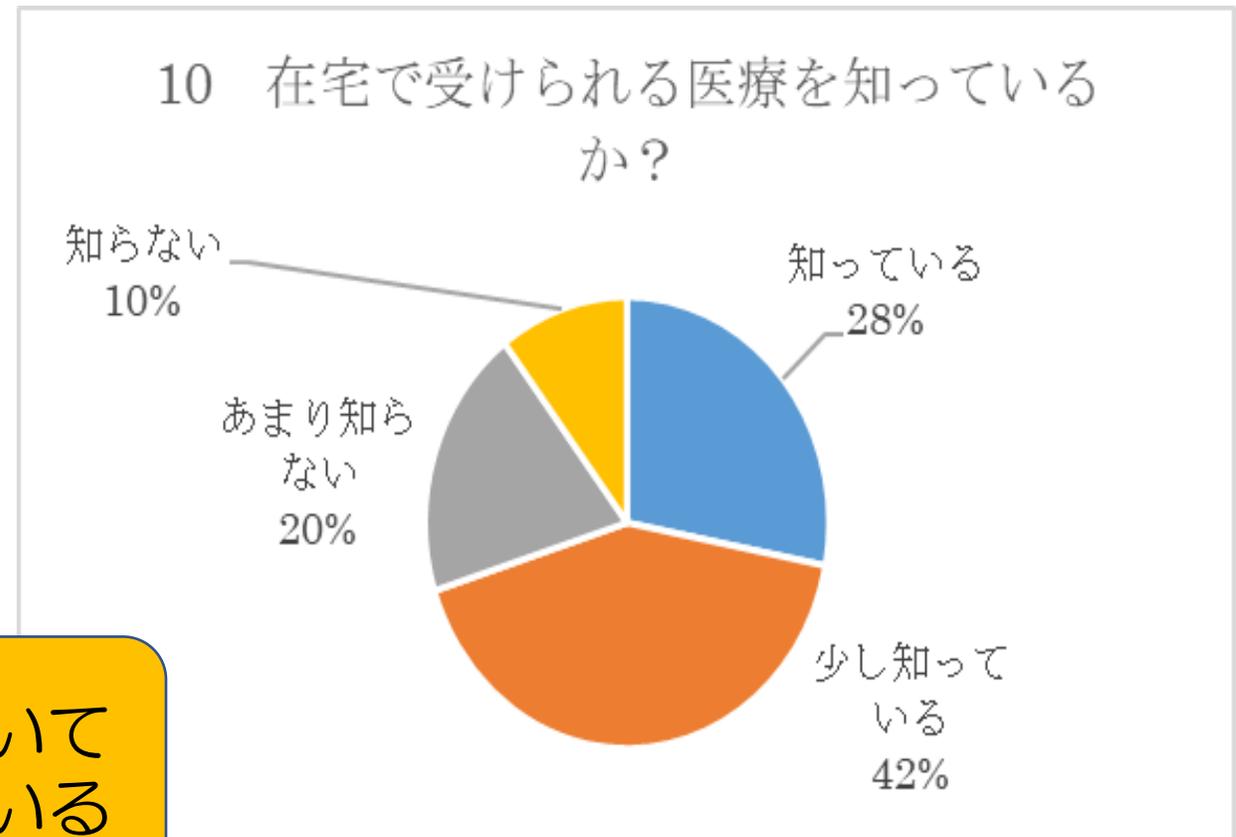
6割の職員がかかりつけ医をもちっていない



【問10】あなたは在宅で受けられる医療について知っていますか？

- ①知っている ②少し知っている ③あまり知らない ④知らない

知っている	46
少し知っている	69
あまり知らない	32
知らない	17



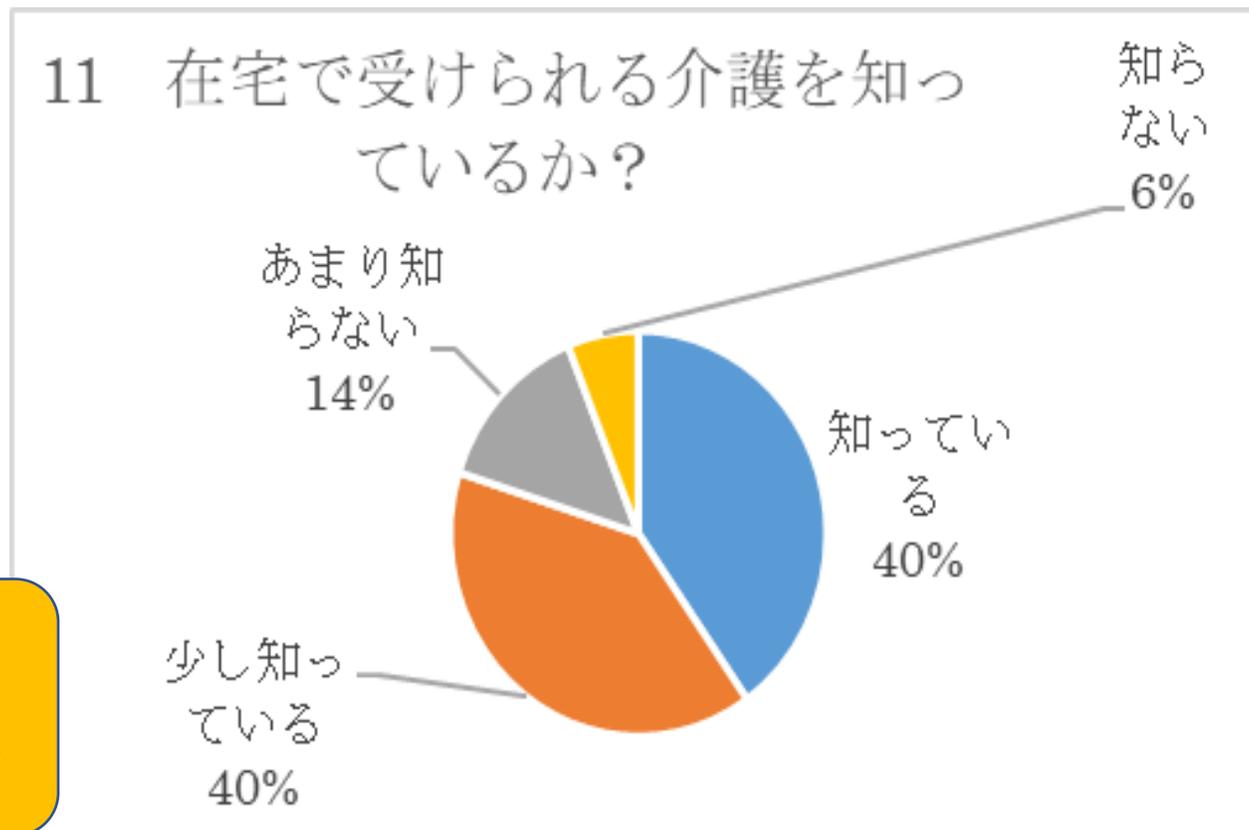
在宅医療の知識について
7割の職員が知っている



【問11】あなたは在宅で受けられる介護について知っていますか？

- ①知っている ②少し知っている ③あまり知らない ④知らない

知っている	66
少し知っている	65
あまり知らない	23
知らない	10



在宅介護の知識について
8割の職員が知っている

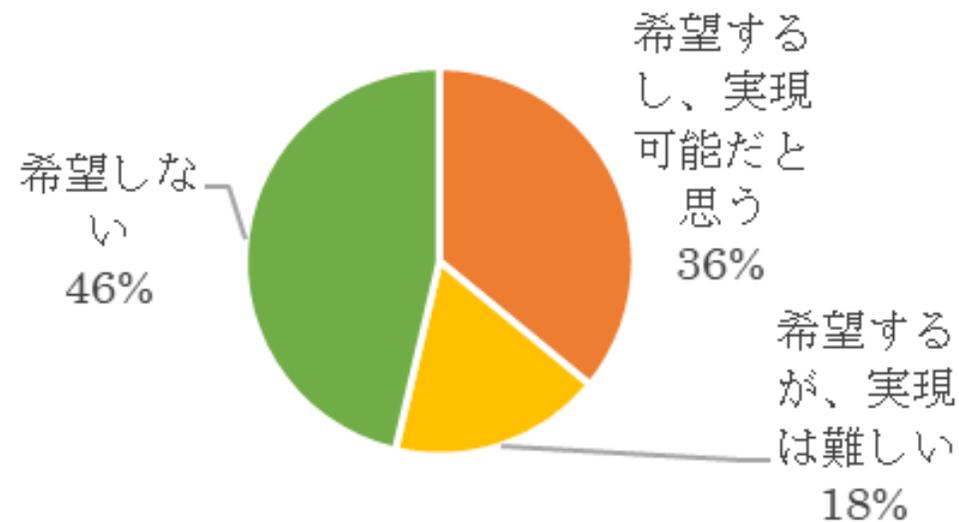


【問13】もしあなたが、病気やけがで長期の治療・療養が必要となった場合、在宅医療を希望しますか？また、希望する場合、その実現は可能だと思いますか？

- ①希望するし、実現可能だと思う ②希望するが、実現は難しい ③希望しない

希望するし、実現可能だと思う	59
希望するが、実現は難しい	29
希望しない	76

13 在宅医療を希望するか？ 実現は可能だと思うか？

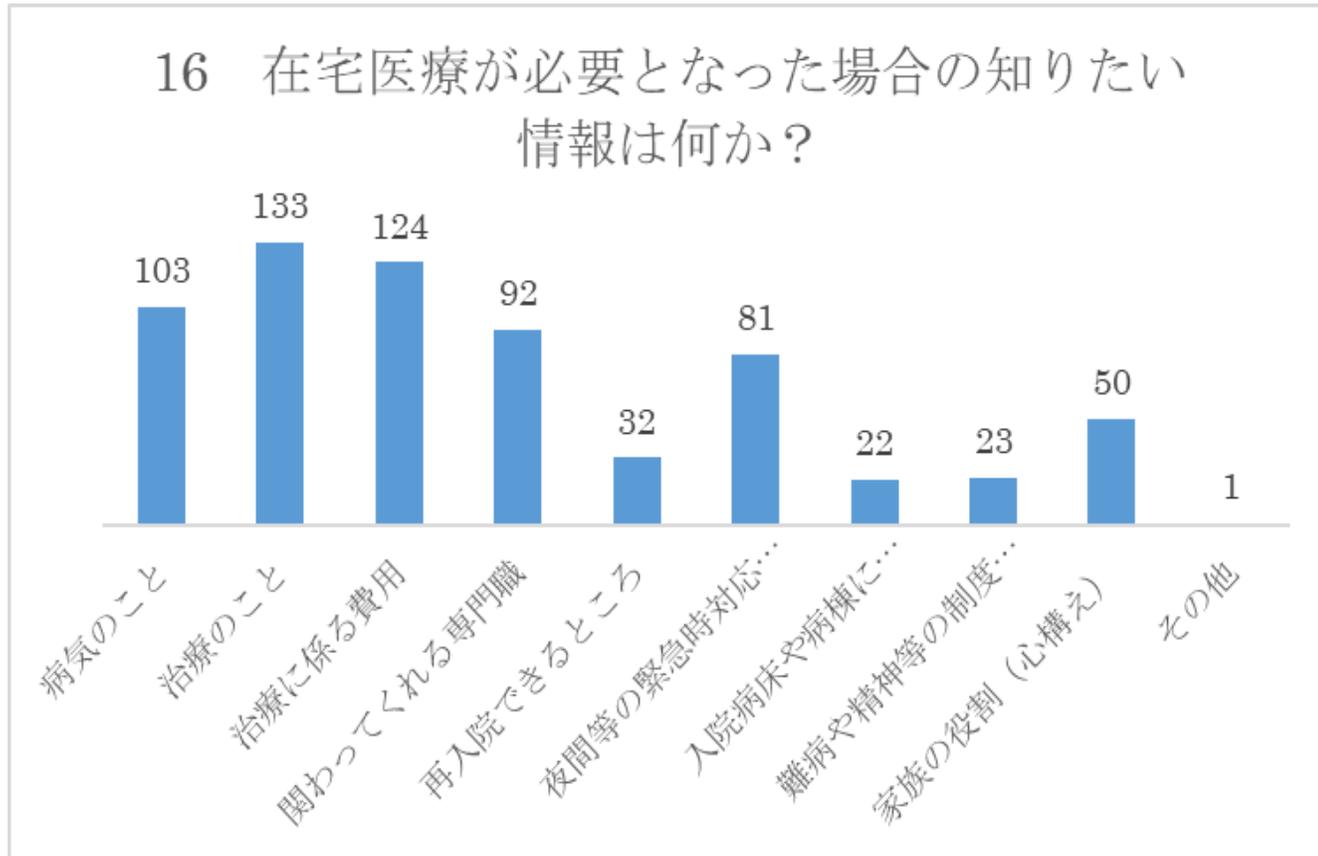


在宅医療を希望する職員は3.6割。
実現が難しいと答えた理由は
「家族の負担」「経済的負担」
が多い



【問16】あなたやあなたの家族に在宅で医療が必要となった場合（自宅で病気の治療や療養が必要になった場合）、どんな情報が知りたいですか？（複数回答可）

- ①病気のこと ②治療のこと ③治療にかかる費用 ④関わってくれる専門職（事業所）のこと
⑤再入院できるところ ⑥夜間等の緊急時対応のこと ⑦入院病床や病棟によって入院期間が定められること ⑧難病や精神等の制度に関すること ⑨家族の役割（心構え）について ⑩その他

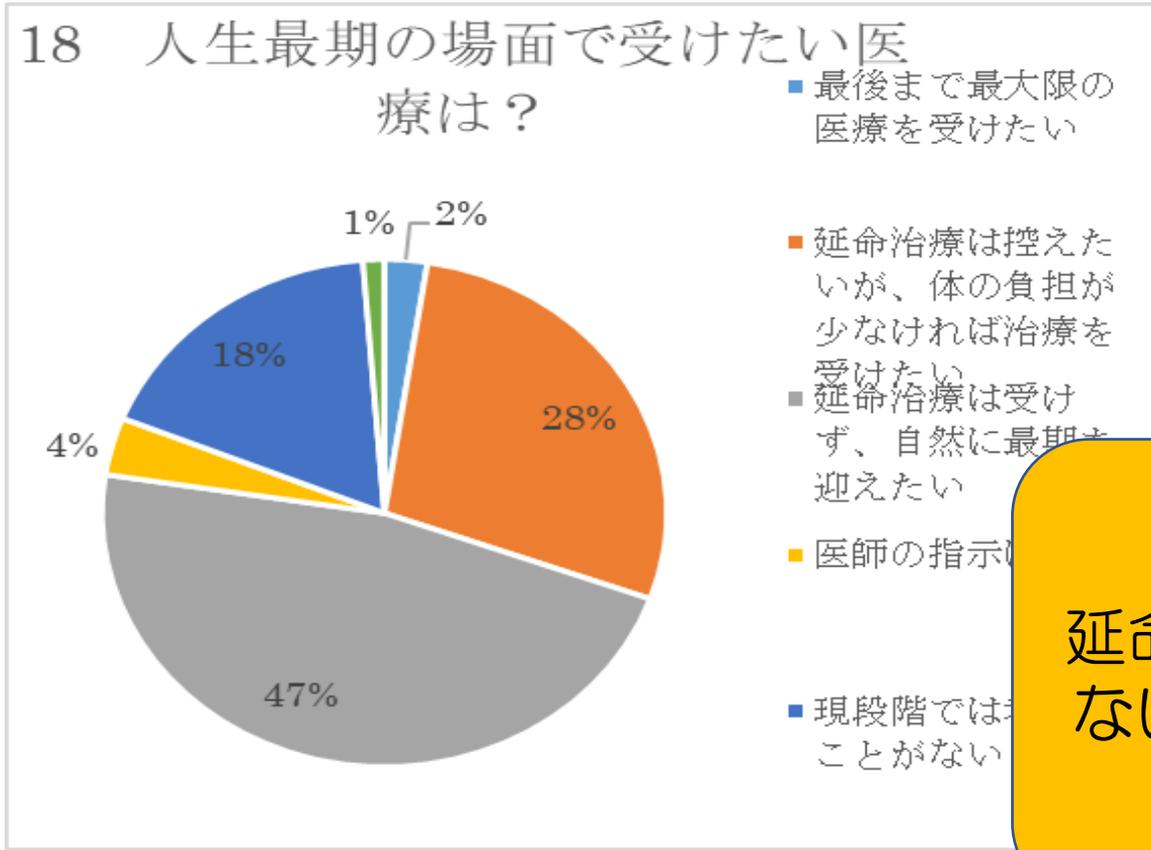


治療・費用・病気のことに関する情報を希望している職員が多い





最後まで最大限の医療を受けたい	4
延命治療は控えたいが、体の負担が少なければ治療を受けたい	46
延命治療は受けず、自然に最期を迎えたい	77
医師の指示に従う	6
現段階では考えたことがない	29
その他	2



延命治療を希望しない職員が約5割

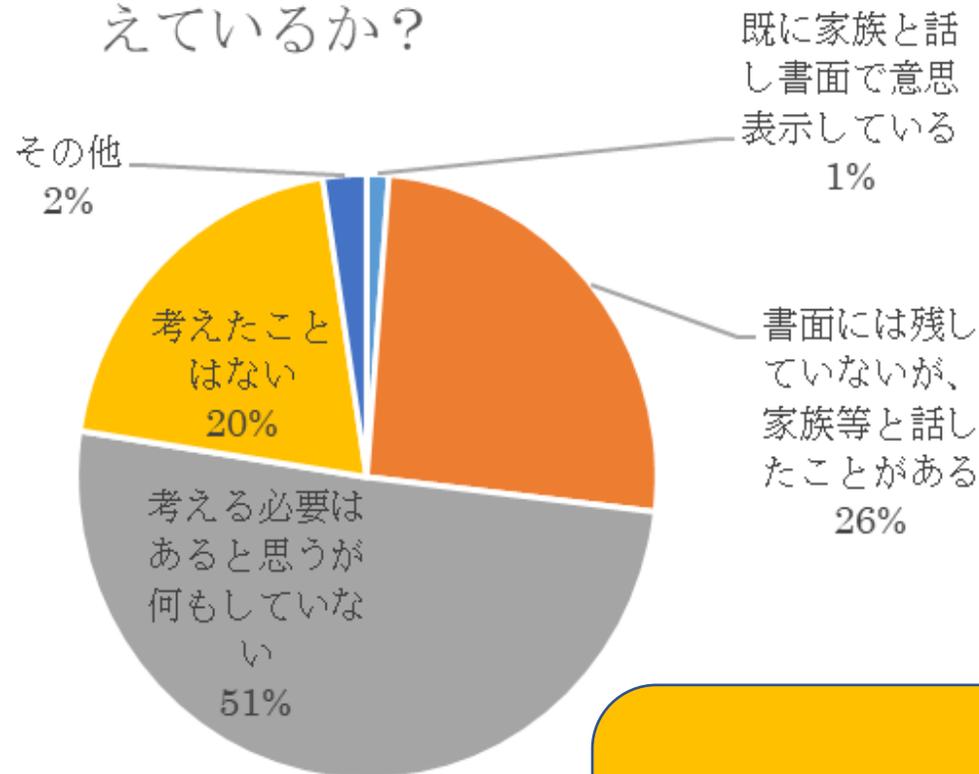
【問18】 人生の最期の場面（治る見込みがなく死期が迫った時）でどのような医療を受けたいですか？

- ①最後まで、最大限の医療を受けたい（延命治療）
- ②延命治療は控えたいが、体の負担が少なければ治療を受けたい
- ③延命治療は受けず、自然に最期を迎えたい（老衰・平穏死）
- ④医師の指示に従う
- ⑤現段階では考えたことがない・分からない
- ⑥その他（自由記載）



19 人生最期の場面の医療について考えているか？

既に家族と話し書面で意思表示している	2
書面には残していないが、家族等と話したことがある	42
考える必要はあると思うが何もしていない	83
考えたことはない	33
その他	4



何もしていない、考えたことがない職員が7割

【問19】 人生の最期の場面に受けてみたい医療について、日頃から考えていますか？

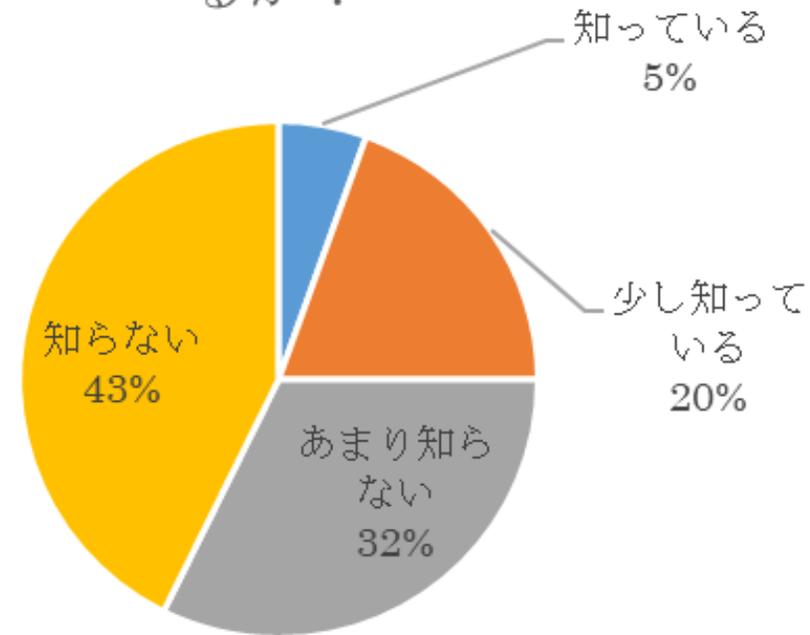
- ①既に家族と話し、書面で意思表示している
- ②書面には残していないが、家族等と話したことがある
- ③考える必要はあると思うが何もしていない
- ④考えたことはない
- ⑤その他 自由記載 ()

【問20】現在、厚生労働省では「人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）」という言葉を用い、人生の最終段階における医療や生活の希望について話し合い、記録に残す事を推進していますが、このような事を知っていますか？

- ①知っている ②少し知っている ③あまり知らない ④知らない

知っている	9
少し知っている	32
あまり知らない	53
知らない	70

20 人生会議について知っているか？



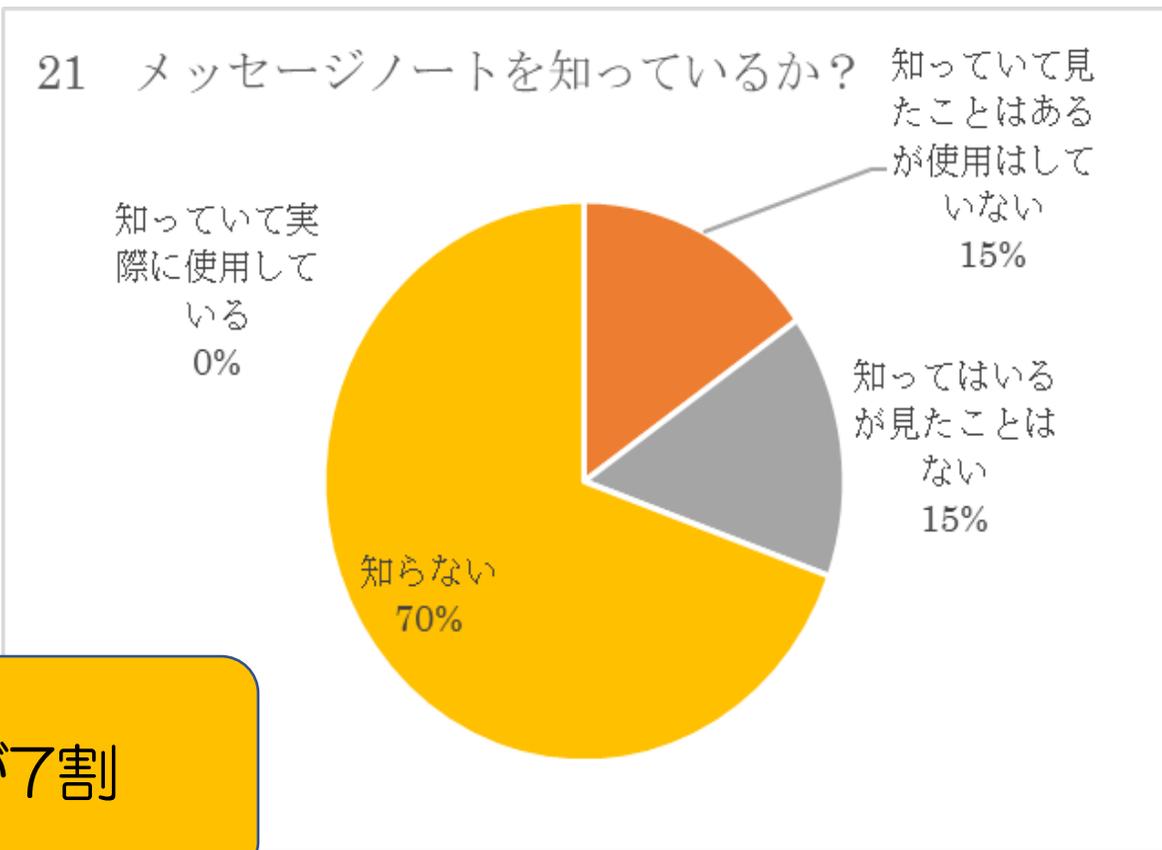
知らない職員が7.5割



【問21】熊本市ではご自身の人生の最終段階における医療や生活について記録に残すことを推奨して、メッセージノート『いまを生きる。あなたへ』を作成していますが、そのことを知っていますか？

- ①知っていて実際に使用している
- ②知っていて見たことはあるが使用はしていない
- ③知ってはいるが見たことはない
- ④知らない

知っていて実際に使用している	0
知っていて見たことはあるが使用はしていない	25
知ってはいるが見たことはない	25
知らない	114

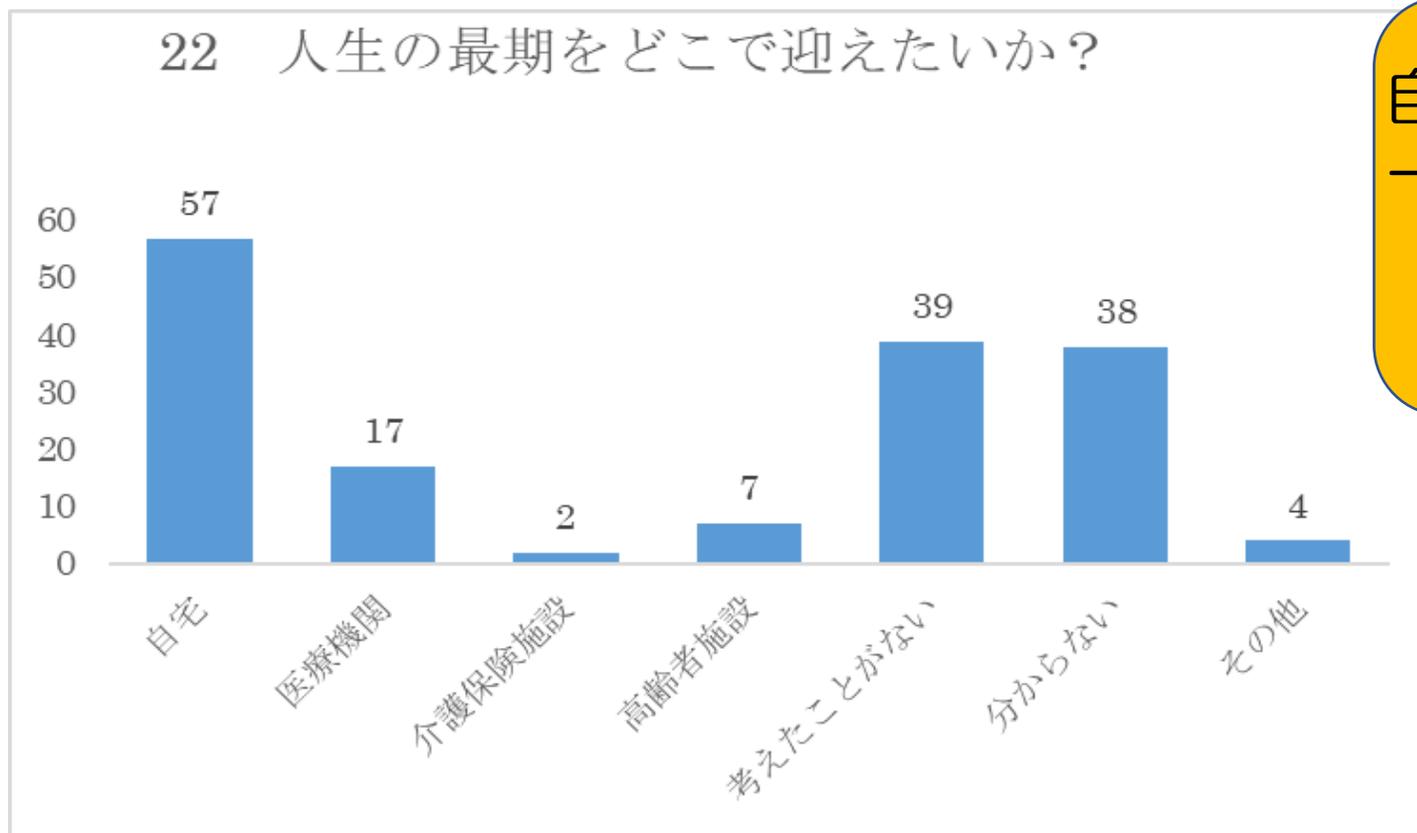


知らない職員が7割



【問22】 人生の最期をどこで迎えたいと思いますか？

- ①自宅 ②病院などの医療機関 ③介護保険施設 ④高齢者施設
⑤考えたことがない ⑥わからない ⑦その他（自由記載）



自宅を希望する職員が多いが、一方で「考えたことがない」「分からない」と答えた職員もいる

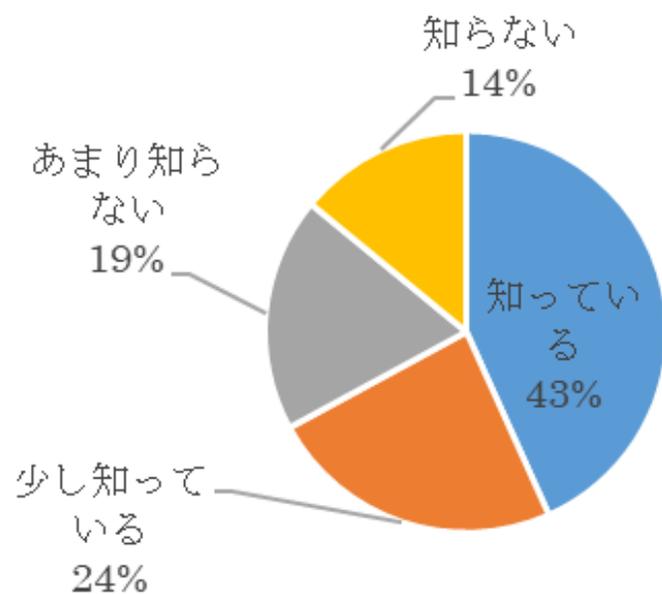


【問23】 「地域包括ケアシステム」を知っていますか？

- ①知っている ②少し知っている ③あまり知らない ④知らない

知っている	71
少し知っている	39
あまり知らない	31
知らない	23

23 地域包括ケアシステムを知っているか？



知っている職員は約7割





今年度からの医療介護連携における取組は…

- ① 区民に分かりやすい啓発を目指して、実務者メンバーを中心に、啓発内容について考えます。
- ② 区民に理解して行動していただくために、まずは職員の皆様への周知・啓発を進めていきます。



ご清聴ありがとうございました